

トートラインヒッチ改



トートラインヒッチはコードの端に輪を作る結び方で、結び目を握って動かすと輪の大きさを変えることができる、タープを張ったりする場合に便利な結びです。これはその変形で、結びの端を引くと結びが解けてしまう結びです。

機能としては張ったコードの長さを調整でき、解くのも容易です。

結び方



コードの端を折り返して輪を作ります。端側のコード折り返して元のコード上に乗せ、2回巻き付けます。その輪の中に折り返したコードの端を差し込みます。そのままでは緩んでしまいますので、しっかりと元のコードに巻き付くように整えます。原理はトートラインヒッチと同じで、巻き付けたところで斜めの力がかかることによって動かないようになっています。